

# 梅原の子

Umehara Elementary School

梅原小学校 学校だより

令和 5 年 6 月号

## 梅原は住んでいいところ、あったかいところ

6 月になり、校外学習・体験学習も頻繁になりました。植物を育てる活動、地域巡りをしながら地域の人と触れ合う活動、福祉体験、防災学習など。梅原小学校の子どもたちの学習は、多くの団体や人々の協力があって成り立っています。特に、地域の皆さんとの連携は、梅原ならではの誇らしいものです。この地域連携の要が、「梅原地域ふる里活性化協議会」のみなさんです。下枠内の活動は、協議会のみなさんのご支援でできたものばかりです。



- ・ 学校周辺草刈り
- ・ 枯れた桜の枝の剪定
- ・ 2 年生の寿会さんとの交流（グランドゴルフ）
- ・ 3 年生 サツマイモ苗植え
- ・ 5 年生 田植え



今回は、梅原地域ふる里活性化協議会について紹介します。

お話を伺ったのは協議会会長の谷村さんです。

梅原地域ふる里活性化協議会は平成 19 年にできました。谷村さんは 3 代目会長さんです。

「ふる里梅原の自然豊かな環境を、末永く未来につなげたい」という願いが、この協議会の柱です。21 の団体の参加があり、様々な活動ができています。

梅原への愛着を未来に託す活動の一つが、小学校で行っている食農体験です。この活動は、農協女性部の方の心強い協力があってこそできる活動です。農業の苦労や喜び、安全な食物ができる環境への安心感を、体験を通して子どもさんに届けたいという願いで 15 年にわたって続けられています。今、中心となって活動してくださっている土井さん、山田さんは、とにかく子どものためになることを考えてくださる人。梅原小の子たちの「やりたい！」を応援してくださる人です。

現実には、梅原もどんどん人が減っています。農地を管理する人も減っていて、放っておけば荒地が増えてしまいます。梅原の子どもたちが、いつまでも「梅原は住んでいいところ、あったかいところ」と思えるように、荒れ地にせず、草刈りをしたり、水路を見回ったりして、とにかくみんなで環境を守る！というのが、協議会のみなさんです。ほかにも、子どもたちが、安全に登下校できるように、有害鳥獣パトロールの活動もしていますよ。

この協議会が続いているのは、梅原を愛している人が多いからです。役員をやってくださる人がいるから会が続けられる。本当にありがたいことです。これからも学校の環境は僕らが守るから、なんでも相談してください。

私たち職員も、梅原地区の一員として、未来を生きる子どもの「梅原愛」を伸ばします。